

みずほCustomer Desk Report 2019/10/23 号(As of 2019/10/21)

【昨日の市況概要】

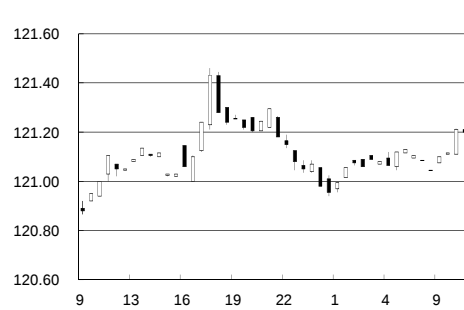
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.52
TKY 9:00AM	108.41	1.1156	120.94	1.2906	0.6850
SYD-NY High	108.65	1.1180	121.46	1.3012	0.6880
SYD-NY Low	108.29	1.1138	120.83	1.2875	0.6841
NY 5:00 PM	108.60	1.1151	121.09	1.2958	0.6867
NY DOW	26,827.64	57.44	日本2年債	-0.2500	▲1.00bp
NASDAQ	8,162.99	73.44	日本10年債	-0.1400	1.00bp
S&P	3,006.72	20.52	米国2年債	1.6241	4.74bp
日経平均	22,548.90	56.22	米国5年債	1.6114	4.63bp
TOPIX	1,628.60	6.61	米国10年債	1.8019	5.01bp
シカゴ日経先物	22,705	200	独10年債	-0.3475	3.60bp
ロンドンFT	7,163.64	13.07	英10年債	0.7480	4.20bp
DAX	12,747.96	114.36	豪10年債	1.1430	3.45bp
ハンセン指数	26,725.68	6.10	USDJPY 1M Vol	5.70	▲0.05%
上海総合	2,939.618	1.48	USDJPY 3M Vol	5.83	▲0.06%
NY金	1,488.10	▲ 6.00	USDJPY 6M Vol	6.23	▲0.06%
WTI	53.51	▲ 0.36	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	174.74	▲ 1.02	EURJPY 3M Vol	6.45	▲0.08%
ドルインデックス	97.33	0.05	EURJPY 6M Vol	6.80	▲0.09%

東京	先週末の英議会を経て離脱延期申請の書簡がEUに送付されたが、英首相の署名は見送られることに。今月末の合意なき離脱の可能性が依然残り、アジア時間早朝にポンド円が下落する中、ドル円は一時108.29を付け、東京時間を108.41レベルでスタート。仲値にかけてはドル買いが優勢となり、その後も日経平均株価が底堅く推移すると、ドル円は一時108.55まで上昇。しかし更に上値を迫るには材料不足で、その後は動意なく推移。108.53レベルで海外市場に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.53レベルでオープン、ブレグジットを巡る一挙手一投足に注目が集まる中、ポンド円の上昇につられる形で、ドル円も一時108.65まで買われるも、上値は限定的。108.56レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2921レベルでオープン。東京時間こそ週末の議会採決延期を受け、合意なき離脱リスクが意識されるも、ロンドン参加者の間では楽観的な見方が多く、ロンドン時間入り後は上値を目指す展開。1.3012をつけてからは心理的な節目が意識され、1.30を挟んで揉み合い推移した後、1.3001レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルリー 00531 444 179 永井)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、ブレグジットのヘッドラインに上下するポンド円につられる展開が続いた。先週末の英議会でEU離脱案の採決延期が決定されたことを受けて、オアシア時間に下落したポンド円に連れ安となり108.29まで下落するが、依然と合意なき離脱の可能性が低いとの見方に108.65まで反発上昇し、108.56レベルでNYオープン。主要な米経済指標の結果発表が予定されていない中、朝方は108.50近辺で小動き。その後、「英国の下院議長がジョンソン英首相のEU離脱案を巡り、21日の採決を認めなかった」、「外ロ-米NEC委員長が12月予定の対中追加関税を見送る可能性を示唆」等のヘッドラインが流れたものの、市場の反応は限定的だった。午後は米長期金利が一時1.80%台まで上昇したことや、ダウ平均がプラスに転じたことにサポートされ108.64まで上昇。しかし、手掛かり材料が欠ける中、海外時間高値(108.65)を手前に小幅反落し、108.60レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、ブレグジット合意への楽観的な見方の強まりに上昇するポンドに連れ高となり、1.1180レベルまで上昇。買い一巡後、小幅反落し、1.1168レベルでNYオープン。朝方は、早朝の流れを引き継ぎ、ユーロ売りが優勢となる中、1.1138まで下落。しかし、欧州株やユーロ円の堅調推移にサポートされ、ユーロドルもこの水準で下げ止まる。小幅反発後、1.1150近辺で小動きとなり、1.1151レベルでクロス。

【ドル円相場】



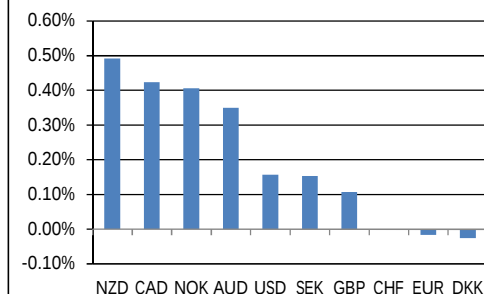
【ユーロ円相場】



【債券相場】



【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

みずほCustomer Desk Report 2019/10/23 号 (As of 2019/10/22)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	- AUD/USD
TKY 9:00AM	108.60	1.1152	121.11	1.2971	0.6870
SYD-NY High	108.73	1.1156	121.27	1.3000	0.6883
SYD-NY Low	108.44	1.1117	120.59	1.2862	0.6851
NY 5:00 PM	108.49	1.1126	120.69	1.2873	0.6856
NY DOW	26,788.10	▲ 39.54	日本2年債	休場	-
NASDAQ	8,104.30	▲ 58.69	日本10年債	休場	-
S&P	2,995.99	▲ 10.73	米国2年債	1.5986	▲ 2.56bp
日経平均	休場	-	米国5年債	1.5900	▲ 2.15bp
TOPIX	休場	-	米国10年債	1.7668	▲ 3.51bp
シカゴ日経先物	休場	-	独10年債	-0.3700	▲ 2.25bp
ロンドンFT	7,212.49	48.85	英10年債	0.7110	▲ 3.70bp
DAX	12,754.69	6.73	豪10年債	1.1725	2.95bp
ハンセン指数	26,786.20	60.52	USDJPY 1M Vol	5.53	▲ 0.18%
上海総合	2,954.38	14.76	USDJPY 3M Vol	5.78	▲ 0.05%
NY金	1,487.50	▲ 0.60	USDJPY 6M Vol	6.23	0.00%
WTI	54.48	0.97	USDJPY 1M 25RR	-0.98	Yen Call Over
CRB指数	175.51	0.77	EURJPY 3M Vol	6.29	▲ 0.17%
ドルインデックス	97.53	0.20	EURJPY 6M Vol	6.73	▲ 0.07%

東京	アジア時間のドル円は108.60レベルでオープン。英国のEU離脱に関して楽観的な見方が根強く残る中、ドル円は一時108.73まで上昇。しかし、東京休日で市場参加者が限られる中で上値を迫る動きに乏しく、すぐに108.60近辺まで反落。その後、「米中通商協議で一定の進展」との報道が伝わるも、マーケットの反応は限定的となり、108.60近辺での揉み合い推移が終始した。結局、同レベルで海外市場に渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.60レベルでオープン。東京休日の中、特段の材料もなく狭いレンジでの取引に終始。108.49-62円で推移しほぼ変わらずの108.60レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2972レベルでオープン。昨日提出された離脱協定法案の審議を本日英時間夜に控える中で上値重い推移。値幅は限られたが、一時1.2922まで下落し1.2933レベルでNYに渡った。(ロンドン時間17:00 50531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、「即位礼正殿の儀」で東京市場が休場となる中、108.60近辺で方向感無く推移し、108.60レベルでNYオープン。朝方は米金利の低下を横目に108.46までじりじりと下落するが、その後、米金利が上昇に転じたことから、売りは長続きしなかった。また、9月平均がプラス圏に浮上したことや、米10月リッチモンド連銀製造業指数が予想を上回ったことにドル円の上昇をサポートし、108.60まで買戻される。午後はブレグジットを巡り、英議会でジョンソン首相のEU離脱協定法案が第二読会で可決されたが、審議日程は否決されており、10月未までの離脱案合意が難しいとの見方が強まったことから、下落するポンド円に連れ安となり、108.44まで反落する。終盤にかけても手掛かり材料が乏しく、値幅19銭の狭いレンジでの推移に終始し、108.49レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、EU側が19年の来年度予算案がユーロ圏の財政規律に遵守してないと述べたことや、欧州株が上げ幅を縮小する動きに圧迫され、1.1134までじりじりと下落し、1.1138レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、1.1123まで下落。その後、ユーロ円の上昇にサポートされ、1.1154まで買戻されるが、先述のブレグジット関連のヘッドラインを受けて下落したポンドに連れ安となり、1.1117まで反落。終盤は小幅値を戻し、1.1126レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:加藤・原田 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

市場営業部 為替営業第二チーム

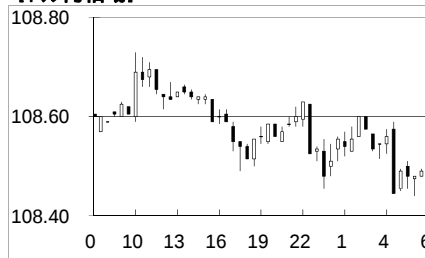
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月22日	23:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	10月 8	-7
	23:00	米 中古住宅販売件数	9月 5.38m	5.45m

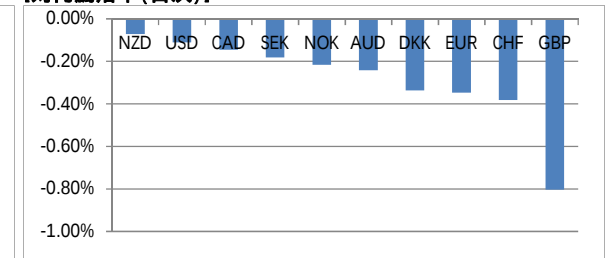
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月23日	23:00	欧 消費者信頼感指数	10月 -6.8	-6.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケットインプレッション】 バックス・アメリカノが揺らいでいる

先の大戦以降に世界の軸となってきたバックス・アメリカナが揺らいでいる。ソビエトとの冷戦でも不戦勝をおさめた米国は世界の指導者としての役割に自信過剰になってしまい、米国の理念である自由民主主義こそが世界の共通理念であると盲信してきた気がする。中国についても、足許でこそ一党独裁であるものの、経済が発展し国民の所得水準が向上すれば国民自ら自由民主主義を選択するであろうと決めつけていた。だからこそ米国は中国の経済発展を陰で支え民主化をサポートすることが重要であると考えていた。ところが米国の自由民主主義的な市場経済の歪みがあちこちで露呈し始めると中国は200年の雌伏から目覚め米国の覇権に挑戦者として名乗りを上げた。こんなことは当のアメリカも、本邦を始めとした他国も予想だにしないに違いない。いずれにしろ、戦後世界の大枠を決めてきたバックス・アメリカノが、アフガニスタン、イラクで血を流し、リーマン危機で経済的な脆弱さを露呈し、更に中国の予想外の発展に直面して大きく揺らいでいる。

このような状況下でトランプ大統領は今まさに2期目に向けてディール外交を推し進めているわけだ。当然、北朝鮮やイランの問題ですら何らかのディールを求めようことは想像に難くない。その場合為替相場はやはり「リスククオン」の名目で円売りが目立ってきそうではある。ただ、たとえトランプが再選を果たしたところで、いや、他の誰が大統領に選ばれようとバックス・アメリカノの後退は避けられないであろうし、結局アメリカはますます内向的になると思う。足許では仮想通過が幅を利かせ伝統的な中央銀行制度に挑戦を始めた。この時期にアメリカが内向的になってしまうのは単なる偶然であろうか。我々はゴルディロックス相場に胡坐をかいている場合ではなく、臨機応変に変わっていく必要がある。(加藤)

	竹内	加藤	関	光石	岡本	上野	原田	玉井	ブル	ベア
Today	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	2	7
Week	ベア	ベア	ベア	ブル	ブル	ブル	ベア	ベア	3	6